

〔3月〕人口の動き

人口	4,128 人
世帯数	955 世帯
出生	5 人
死亡	4 人
転入	79 人
転出	27 人

(3月末住民登録人口より)

# ひがし しらかわ

## 広報

第130号

発行  
東白川村 公民館  
岐阜県加茂郡東白川村  
TEL(東白川)1

印刷  
中部印刷 KK

昭和45年4月30日発行

### 伸びよ 若い芽

待ちに待った入学式……。

新しい服に、新しい靴、かばん。

期待と不安に小さな胸をいっぱいにしてながらも、元気に伸びようとする若い芽たちのスナップです。

(神戸小学校入学式のひとつま)



# 億7千万円 保育所を建設

## 別会計予算が成立

昭和四十五年度の村の一般会計、特別会計あわせて二億六千七百円の予算が決まりました。

三月十九日招集された村議会で慎重に審議検討され、同二十五日に成立したものです。この村の台所というべき予算がどのように使われどのように生かされていくか、私たちに知っておく必要があります。健全財政をたてまえに、総合予算として編成されたこの村の予算を、村長の上程説明から要約してお知らせします。

### 〔予算編成の基本方針〕

予算の編成に当たり 健全財政の堅持と自主財源の充実によることが望ましいことです。

すなわち、直接住民が負担する村税によって自治体組織の発展に仕向けることが、自治意識を向上させるものと考えます。

しかし、現実には村の実態は、税の伸びに期待はできず、まず、経済原則に従って確実な財源をつかんで見込み財源を全部計上しました。そして、皆さんの要求にそって、努めてきめ細かく、しか

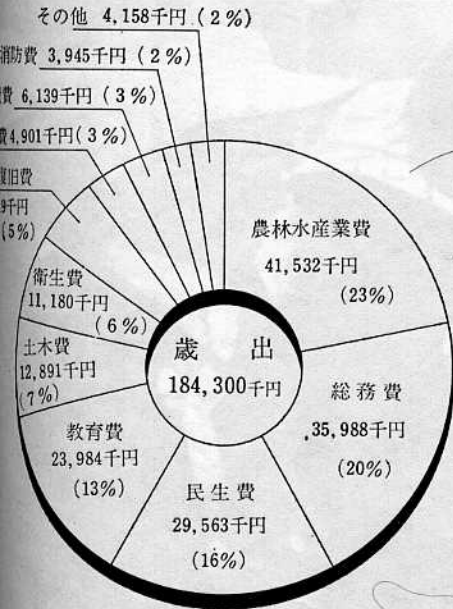
も重点的配慮の総合予算として編成しました。

一般会計予算は、前年度より二千八百万円の前減となりましたが、

八・一七災害の残りの復旧工事が少なくなったこと、構造改善事業も最終段階を迎えたこと、体育館南北橋の終了などによるものです

### 〔財源〕

自主財源である村税は 二千五百七十二万六千円、すなわち村民



村の産業の基本である農林業振



農林業の振興

税三百四十五万五千円、固定資産税千三百四十八千円が直接負担願うものです。

国から交付される地方交付税を前年度より千五百万円増と大幅に見込みました。

また、国庫支出金、県支出金、事業に関連する諸負担金、寄付金手数料などを見込み、村債八百万円を計上、なおかつ、二千八十万七千円の財産収入によって、予算編成をしました。

興については、振興山村特別開発事業第二年度事業費五百十七万円をもって、五加下野と神土大口に農道の開設、簡易給水施設と牡蚕飼育所の建設を計画しました。

五カ年計画を本年度で終わる農業構造改善事業は、神土神村に製茶工場の建設と茶園防除施設補助七百七十六万円を計上し、総仕上げの年として事業実績の評価検討を行ない、今後これらの事業の育成について、指導体制を強化し成果を高めるよう配慮しました。

また、米の生産調整というやむおえない事態に対し、この機を逆に経営改善、所得の拡大に役立てる方向で、養蚕、茶業など本村の

基幹作目の振興に努力します。

林業振興については、ひのきの植林による山林資源造成を奨励し特に米作転換に呼応して、苗木の村内自給を目標に奨励します。その他少年の山の設置、各種林行事を通じて、林業振興と山林緑化思想を高めたと思います。

村道については、下親田から大明神に通ずる小峠林道の開設を、二カ年の継続工事による公共林道開設事業として、本年度六百万円を計上しました。

そのほか、穴沢林道開設に百万円、曲坂橋永久化工事に三百四十二万四千円など村内道路網の開発整備の促進に努力します。



道路の整備

神土平地内う廻線の開設計画は、前年に引き続き全線の用地確保と、工事に着手し得る体制を作るため、地元の関係の皆さんの理解と協力によって早期完成に努力します。

山振事業による加舎尾地内の拡幅改良工事は、工費六百万円を計上、その他村単工事による村道の局部改良費百万円を計上しました。

主要地方道白川、加子母線の軸とした、林道、農林道の改良整備は、すべての分野の振興発展につながるものです。

なかでも、白川、加子母線の改良整備の促進を、国、県当局に強力に要請していますが、全線整備のあかつきには、村勢発展に新たな

# 村をささえる 越原へき地

## 昭和45年度の一般



福祉関係事業は、国民生活の向上と併向し、地域格差の是正のうえからも、充実強化が要望されてきました。

本年度は、社会福祉関係費六百八十五万円、児童福祉費二千二百七十一万三千円を民生費として計上しました。

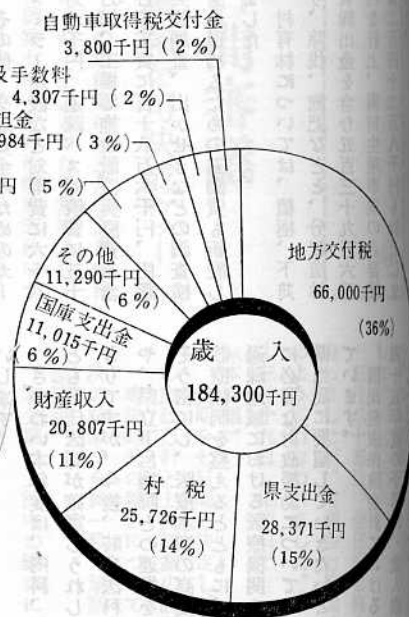
平和で明るい家庭を支える施策として推進しますが、特に老人福祉事業の充実を図り、中でも不幸にして長期間病床にある「寝たきり老人」の方への援護事業として特殊ベット貸与制度を新設しまし

た。

年々医療費の増高によって、保険財政の危機が叫ばれている国民健康保険会計に対し、前年と同じ三百万円（一戸当たり約四千円）を繰り出し、保険料引き上げ幅の縮小と、保険財政確立に配慮しました。

児童福祉施設である保育園の施設整備と、保育内容の充実は、年々重要となってきました。

本年度、越原へき地保育所の公設化を計画し、建設費一千四百五十六万円を計上するとともに、専任園長（三保育所兼務）の設置、保育担当者の資質の向上に努めます。



八・一七災害復旧工事は、第三年目を迎えました。本年度末で県工事の一部を除き、村工事としての査定分はすべて復旧完了を予定しています。

事業費は一千万円を計上し、早期完了に努力するとともに、これの記録の整理をし今後の防災への資料とします。



学校教育関係費として、学校整備費に二百万円、小中学校費、通学費など義務教育振興費、給食関係費に千五百三十八万円を計上しました。学校教育の向上に対処するよう配慮しましたが、学校当局父兄におかれましても、学校、家庭が一体になって、心身ともに健康で人間性豊かな人材育成に協力を期待しています。

社会教育費には、三百五十五万九千円を計上、青少年、青年、婦人学習の充実、公民館の改修など公民館活動の充実に努力します。スポーツ振興は、年々盛んになってきますが、特に体育館の完成によって、さらに活発になると思っています。

また、長年の念願だった総合グラウンドの建設は、本年度前半に全体計画を樹立、年次計画で整備を行いますが、その調査費を計上年度後半には一部着工の運びにしたいと考えています。

教員住宅の建設についても、公立学校共済組合資金により新築を予定しています。

教育委員会では、昭和四十五年の青年学級を次の予定で開設しますので、学級生を募集しています。

学習意欲ある青少年諸君が多数応募されるよう期待します。

### ◎開設期間

六月一日—三月三十一日まで

### ◎学習方法

主に夜間を利用し、年間五時間（六十時間）日数にして二十五日（一日の学習時間を二時間半として）を学習します。

### ◎学習内容

内容は学級生の方の希望をとり入れて運営しますが、学級生全員で学習する全体学習は、講話研究協議、実習、見学旅行、スポーツ（スキー、スケート、スポーツテスト、フォークダンスゲーム）などの一般教養と体育レクリエーション、および学級生の趣味を生かしたサークル研究（お茶、お花、体育サークル文化、芸能サークル、音楽レクリエーション）などが考えられます。

### ◎応募資格

村内在住の満十五歳から二十五歳までの青年男女で、一年間青年学級生として継続して学級に参加できる者

### ◎申し込み

五月二十五日までに教育委員会事務局あて申し込みのこと。





消防活動は、団員皆さんの努力と、技能の向上によって、防火防炎に備えは万全で、深い信頼と感謝をしています。

防火施設には、さらに充実整備が要望されていますので、本年も水利施設の新設など主体とした予算を編成しました。



保健行政は、村の重点施策として推進してきましたが、本年度も成人病、結核検診、伝染病予防など住民健康管理事業、衛生的な生活環境づくりに効果をあげたいと思えます。

特に成人病検診は、従来受診率の低い壮年層の受診率の向上を図り、早期発見、早期予防の認識を高めたいと考えています。女子健康センターは、過去二年

だ。特に出産の二割にも及ぶ異常分べんの実態からも、助産部門、指導部門とも婦人科医師による診断、指導の強化がたいせつです。したがって、これらの万全を期するためにも、財政負担の増加もやむおえず、医師確保に必要な予算措置をしました。

その他、母子栄養強化制度、栄養教室、衛生講座などの推進さらに、保健婦の設置とあわせて、各家庭と母子センター、病院、保健行政担当者が一体となって、総合的保健活動の充実を図ります。



その他、交通安全のためのカーブミラー新設など対策費に六十八万八千円、過疎バス対策費に三十万円、工場等施設設置奨励費を含む商工費に百八十八万六千円、内職実態調査、出かせぎなどの調査検討を進めるための労働費も新設しました。

村有林については、植樹、下刈り、除伐、施肥など、分収造林費繰出金を含む五百三十九万六千円を計上、素材生産事業の必要経



昭和四十五年度の東白川病院事業会計は、歳入四千五百五十九万円歳出四千六百三十九万円、差引き四百八十万円の赤字予算を計上しました。

これは、過去の実績から見てもやむをえない実情で、いうまでもなく、過疎地域における病院経営はますますむずかしくなってきましたが、本村ただひとつの医療施設としての使命は重大です。

したがって、この運営に要する財政負担と、医師の長期確保について皆さんに理解と協力をおねがいします。

さいわい本年度は、内科、外科とも常任医師が確定しうれいしかしりですが、今後、岐阜医科大学や、県立下呂病院との連携をいっそう密にし、医療水準の高度化と診療体制を整えるとともに、辺地過疎地域における医療機関の存続に必要な財政援助について、国、県当局に要望していきたいと考えています。

医療費の増大に伴う保険給付費の増加は、年々保険料の増額を必要とし、本年度も一世帯平均二

千円の引き上げをおねがいし、一般会計からの繰入金三百万円をもつて保険財政の維持を図ります。

# 災害復旧工事は継続に

—産業土木委員会が引き続き審議—

第四回定例会において、八・一七災害の復旧問題について、産業土木委員会にその審議が付託されていたので、今定例会において委員長から審議経過の報告がありました。

これに關係して、田口(稔)議員から次のような内容の動議が提出され、議題として審議した結果全員が賛成されました。

—動議の内容—  
村単小災害補助金交付要綱に決

めてある補助対策施行期限は、昭和四十五年三月三十一日となっているが、いろいろな事情から、復旧工事が期限内に完成しないものがあり、こうした工事についてはその施行期限を五月三十一日まで延長されたい。

なお、それ以外の特殊な工事については、村長は期限後も別途に考慮されたい。

助産給付費1万円に  
国保条例改正される

助産給付費の引き上げなど、国民健康保険条例が改正されまし

た。出産の場合、国民健康保険からいままでも三千円を給付していましたが、今回の改正で一万円が給付されることになりました。このほか、いままでも保険料を前納した場合、前納額が金で支給さ

第一回定例会

予算など七日間審議

― たつぷり二十議案を可決成立 ―

昭和四十五年度、村の一般会計と事業会計の予算と、これに付随した条例などの審議が主となる第一回定例会が開かれました。

いずれも議案どおり可決成立しました。三月二十五日、全日程を終え閉会しましたが、定例会七日間は次のように行なわれました。
三月十九日(招集日)
(本会議)
会期を七日間と決定し、村長の施政方針と上提議案の説明、専決処分報告について、採決の結果、全員一致で承認
(協議会)
本会議に上提中の議案についての質疑。

三月二十日、二十一、二十二日
議案精査のため休会
三月二十三日
(協議会)
本会議に上提されている議案について質疑
三月二十四日
(本会議)
追加議案の提出にかかる村長の説明
(協議会)
上程された追加議案について質疑
(本会議)
本会議を再会、追加議案である昭和四十四年度一般会計、特別会計補正予算はか五議案について討論、採決の結果、全員賛成で原案どおり可決

多量で議案どおり可決。引き継ぎ一般質問が行なわれ午後三時五十分定例会の全日程を終わり閉会。
(議員などの報酬が改正されました)
東白川村議会議員、村長などの報酬等を改正する条例案がこの定例会に上提され、原案どおり決定しました。
今回の改正による報酬の額は次のとおりです。

村の一カ年の台所ともいふべき昭和四十五年度の予算が、ここに成立しました。

特に、福祉関係事業における老人援護事業と、本年度重要施策として過疎化現象への考慮による労働費を新設し、内職実態調査、過疎バス対策、交通安全対策など広く全体の福祉向上に意を用いた予算で、議会ならびに皆さんの要請に答え、意欲的で前向きな姿勢に對し心から喜びにたえないところでは、私たちは、この予算を通じ予算と政治の結びつきがいかに重大な関連があるかを理解し、政治を離れた予算を離れた政治が、ともに存在しないことをさらに確認し、行政の効率を図るとともに本村の発展をねがうものです。

続いて、今井(倍)議員から日本農業を守るため、米の開發輸入に反対し、食管法を堅持する意見書を政府へ提出することについての動議を提出。所定の賛成者があり動議は成立、議題として上提されたが、賛成少数で否決された。

― 監査委員
知識経験者 月額 五千元
議会選出者 月額 三千五百円
区 長 月額 一万元
組 長 月額 一万元
五十戸以上月額 一万二千元
二十戸以上五十戸未満 月額 一万元
二十戸未満月額 六千元

三月十九日、第一回定例会が召集され、会期七日間にわたり慎重審議の結果、一般会計一億八千四百三十万円、特別会計八千二百九十九万円の予算が可決成立したものです。

予算の審議は議会の最も重要な仕事であり、議会の議決があつてはじめて本村自治体としての団体意思が決定され、その議決に基づき長及び執行機関が仕事を進めることができるのです。

この重要な予算審議に当たり、議会は予算は村民のためのもの、

うれしい福祉向上

議長 安江多策

の充実を基とし、皆さんの要望に、きめ細かく重点的配慮のうえに生まれた総合予算です。その政策が限られた予算のわくの中に着実に盛り込まれ、諸般の状況を考慮し適正に編成された予算とい

の充実を基とし、皆さんの要望に、きめ細かく重点的配慮のうえに生まれた総合予算です。その政策が限られた予算のわくの中に着実に盛り込まれ、諸般の状況を考慮し適正に編成された予算とい

の充実を基とし、皆さんの要望に、きめ細かく重点的配慮のうえに生まれた総合予算です。その政策が限られた予算のわくの中に着実に盛り込まれ、諸般の状況を考慮し適正に編成された予算とい

の充実を基とし、皆さんの要望に、きめ細かく重点的配慮のうえに生まれた総合予算です。その政策が限られた予算のわくの中に着実に盛り込まれ、諸般の状況を考慮し適正に編成された予算とい

一般質問

自立経営農家の育成を

―当面する諸問題に質疑―

―樋口議員

議員定数を減らすことについては、多くの村民の声もある。また議会人件費なども年々増えていくので、現在の十六名から十二名まで減らす考えはないか。

―村長

そういう声は聞いているし、本村は他町村に比し、議員数が多い方でもあるので、検討してみる。

―古田議員

村は、廃仏棄釈で時代の変遷を知る貴重な資料の多くを失ったが、最近一部の旧家になお貴重な資料が保存されていると聞き、よろこんでいる。こうした貴重な文化的資料の保存に対応する必要があると思うが、考えを聞きたい。

―村長

残されている村の文化財を保護していくことは大事なことであるのでよく検討し、条例設置など適切な措置により、その保存、保護に努力したい。

―安江(勝)議員

(一)献血運動について

村は、こんど献血を実施したが村内の事故などが少なく、輸血の量が献血の量を下まわった場合、

ような話を聞くが真相はどうか また、村の現在までの献血の状況と、その使用状況について説明されたい。

(二)体育館の寄付金について

さきに、体育館建設にかかる団体などの寄付金は受けないという村長の答弁だったが、現在、三区長によって寄付金募集行為を行っている。これについて、条例等の設定によりこうした寄付金行為を禁止する考えはないか。

―村長

(一)献血は、同胞愛によって行なわれるものであり、さいわい村内の事故が少なく、血液の必要が少なかつた場合は、血液銀行に収納されて他の人たちにもまわされる。しかし、これによって銀行が利益を受けているというようなことはありえない。昨年、村では六十人献血しているが、それ以前は相当血液銀行から借りていた。今後、事故などの多発などに備え、これに対処するため献血運動を行なってきた。

(二)団体などの寄付を受けないといいたことはない。他町村では割り当てなど半強制的な方法もあった

自主的な行為であり、これを受け入れないというような措置は、とるべきではないと考える。村としては、そういった善意を受け入れ少しでもよい施設にしたいと考えている。また、父兄も、教育は国や県備村のみでやるという考えでなく、力を合わせて施設、設備の充実を図るよう理解し、協力していただきたい。

(三)立地条件からみて、大工場などの誘致も考えられないし、したがって自ら進む道が決定されてくるので、その部門において育成を図るより方法がない。具体的な育成についての例をあげ、それに取組むことは、現在はずかししい問題である。村の産業育成ということとは、常に研究していきたいと考えている。

昭和四十四年度補正予算  
千二百万円も可決

昭和四十四年度の最終的な補正予算が、三月二十四日の議会に上程され討論採決の結果、原案どおり可決されました。

今回の補正は最終的なもので、それぞれの項目ごとに不足分、不執行分について操作され、千二百二十九万一千円が補正されました

―今井(悟)議員

農家は、米作減反施策の中にあり非常な不安に立たされている。こうした事態に対し、村や議会

は政府に対し、食管法を守るようその保護政策を要望する考えはないか。食管法を守る運動は、今の時点で強力に行なわなければ、農家にとって重要なことになると思うが、村長の考えはどうか。

―村長

政府は、食管法の廃止するとはいつていないし、農業会議などでも食管法を守る要望はだしている。米作減反の施策の中にあっても産米は政府が全部買上げるよう運動もしている。質問のような要望は現時点で行なう考えは持っていない。なお、激動する現況化にあつては、さらに強化しなければ

ばならない事態も予想され、政府としても廃止に踏み切ることはしないと考える。

―今井(好)議員

農林業の自立経営は、耕地一ヘクタール、山林二十ヘクタールぐらいあればなりたつといわれているが、そのために必要な山林を取得する場合、取得資金の利子補給など行なつて、自立経営農家を育成する考えはないか。

―村長

そうした取得資金を無利子で貸し付けるよう、制度化を国へ要望しているが、まだ実現されない。しかし、山林取得資金として、現在、二十年すえ置き三十年償還利率三・五パーセントという有利な資金があるので利用して欲しいが、その利子補給を村で行なう考えはない。

体育館建設関係費

村単小災害復旧費補助金 三百六十万円

橋災害復旧工事費 十五万円

病院医師住宅修理工事費 七十五万円

病院自動車購入費 三十万円

素材生産費 三十一万五千円

病院事業会計補助金 八百二十七万円

桑園、茶園造成費補助 三十九万三千円

緑茶冷蔵庫設置補助金 五十一万六千円

...



# 納税など金融機関の窓口で 公金の出納方法変わる

から会計事務の四月一日指定金融機関制度を採用し、その合理化を図ることとなりました。

近年、地方公共団体の事務は著しく膨張し、高度化し、そのうえ広域的に処理しなければならぬ事務も多くなってきました。当然に財政規模も増高し、会計事務も複雑多岐を極めることとなったのです。

指定金融機関制度というのは、現金の出納事務に最も熟達しているところから、村の公金の収納及び支払の事務を取り扱わせることとであり、一般経済社会で活用されている技能を十二分に取り入れて事務の効率的運用と正確安全を図り、また村民の利便も増進しようとするものであります。

この制度の採用によって、村の収納及び支払の事務は、すべて金融機関を通じて行なわれることとなり、従来のように収入役の窓口で現金を受取ったり、または支払ったりすることは、原則として行なわないことになりました。

別表に村の公金の収納及び支払を取扱う金融機関を掲げましたので、今後 税金の納付などは、これらの金融機関に行ない、また、物品の代金などを村から受け取るうとするときは、収入役の窓口で手続きを行なった後、指定した金融機関から現金を受取るようにしてください。

金融機関名	取扱の内容
東白川農業協同組合（東白川村指定金融機関） （同農協越原支所を含む）	村の公金の収納及び支払の一切を取扱ったもの取りまどめをします
大垣共立銀行白川口支店 （東白川村指定代埋金融機関）	村の公金の収納及び支払をします
十六銀行美濃加茂支店 （東白川村代收納代理金融機関）	村の公金の収納のみを取扱います
多治見信用金庫白川支店 （東白川村代收納代理金融機関）	取扱いします

## 引き続き負担調整

### 評価替え後の固定資産税

昭和四十五年度は、固定資産評価の基準年度であり、したがって評価替えが行なわれました。

そのうち土地については、昭和四十四年度の評価額に比べ、宅地の場合平均一・七五倍、田が一・〇倍、畑が一・〇六倍、山林が一・二九倍の評価増となりました。

しかし、この評価替の結果をそのまま固定資産税の税負担に反映させることは税負担に激変をきたすこととなります。そこで、そのようなことは適当でないという税制調査会の答申に基づく地方税法の改正によって、次のような激変緩和の措置がとられることになりました。

表 A

上昇率 (45年度分÷38年度分)	負担調整率
3倍未満	1.1 (1割増)
3倍以上8倍未満	1.2 (2割増)
8倍以上25倍未満	1.3 (3割増)
25倍以上	1.4 (4割増)

### 前納報酬金 廃止に決まる

いままで、村民税や固定資産税を前納すると、規定によって前納報酬金が交付されてきましたが、昭和四十五年度からは、この制度が廃止されることになりました。

村がこの前納報酬金を交付する制度を廃止することに踏み切った理由は、

- ① そもそもこの制度はシャウブ勧告により地方税制の大改革が行なわれた当時創設されたもので、納税意欲も低かったに当時においては税収を確保するために必要であったが、現在では、一般の納税意識が高まったため、あえてこの制度にたよる必要がなくなったこと。
- ② 現在までの利用状況を分析してみると、その大部分が、金的に余裕のある人、いわゆる裕福な家庭の方々の利用が多く、前納しなくても納税資金の都合で前納できない方々も多いこと。

昭和38年度評価額（課税標準額）……………500,000円  
 昭和45年度の評価替による新評価額……………3,800,000円  
 昭和44年度の課税標準額……………1,000,000円

上昇率  $\frac{3,800,000}{500,000} = 7.6(\text{倍})$  (3倍以上8倍未満に該当)

負担調整率……………1.2

昭和45年度分の税額  $1,000,000 \times 1.2 \times \frac{1.8}{100} = 21,600$ 円  
 従って昭和45年度分の固定資産税の年額は、21,600円となります。

# 東白川体育館 善意の寄付が三百万円

## より設備を充実し完成へ

昨年九月末から、神土小裏用地に建設中の体育館も、その後六カ月余りを過ぎ、このところ、ようやく主体工程を終わり、いまは便所や渡り廊下などの残工事を急いでおり、これが全部完成までにはもう一息といったところです。

ところで、この体育館建設には先々月の広報(百二十六号)でもお知らせしたように、各方面からの

暖かいご協力が寄せられ、設備費として多額な寄付をうけています

その後も、このような善意が相いつき、五加今井時夫さんから百万円、神土服田敷さんから五十万円五加今井悦次郎さんから二十一万八千円の大口寄付をはじめ、村ぐるみによる一般寄付など、この

四月十日現在で、総額は三百一萬六千八百七十六円となりました。

村では、この多額な

寄付金は、すべて内部の諸設備に充てることにしており、これが完成のあかつきは、内外ともに充実した体育館として、広く皆さんにおめえする日を待ちのぞんでいます。

なお、十二月以降四月十日現在までにご協力いただいた方々は、つぎのとおりです。

### ▽個人特志寄付の部

(順不同) (敬称を略させていただきます)

万八千円、安江志なし五万円、

大坪金吾し一万円、安江美和子

し一万円、服田敷し五十万円、

井口恒男し五万円、今井時夫し

百万円、桂川真郷し一万円、小

池正し二万円、山田三枝(名

古屋)し三千元

▽一般寄付(各区取扱分)

大口(十六名)し一万一千元、

平(百六十四名)し十一万九千七

百元、上親田(四十七名)し四万

一千三百円、中通(三十二名)し

二万八千八百円、神付(二十八

名)し二万七千八百円、加舎尾

(十五名)し一万七千二百円、中

谷(二十四名)し二万五千五百円

西洞(二十九名)し二万六千三百

円、曲坂(二十四名)し一万四千

七百元、日向(四十六名)し二万

三千五百円、陰地(八十名)四万

八千五百七十六円、栃山(十五

名)し七千三百円、黒淵(二十三

助教安江茂子 退職

(五加小学校)

校長今井 透 退職

教諭安江昭典 加茂上麻生小へ

” 正木繁実 本巢真桑小へ

” 高井節子 山県富岡小へ

助教波多野久子 土岐笠原小へ

(東白川中学校)

校長青木和男 益田湯屋小へ

教諭安達ツタ代 各務原 蘇原小へ

▼転入、新採用の部▲

(神土小学校)

教諭安江明子 大野高根小より

” 塚田太郎 大阪

” 大矢洋子新(東海女短卒)

▼転出、退職の部▲

(神土小学校)

教諭山田鉦二 恵那中野方 小より

” 上田きよ 新(岐阜大卒)

## 今井校長が退職

### 新学期的教員異動

四月はじめは、いずこも転勤、就職、進学など人の往来が多くなるときです。

村内各学校の教職員の定期異動もことは、地元五加小学校を最後に四十一年間の教師生活から身を退かれた今井透先生や、東白川中学校から郷里の飛騨地区へ転出された青木和男先生ら二名の校長さんが交代されたほか、それぞれ

つぎのような異動がありました。

## 村に保健婦さん

### 健康な村づくりに一役

長年待ち望んでいた保健婦さんが、四月から誕生しました。

勤務する保健婦さんは安江延子さん(下親田出身、22才)とい

ことし、保健婦学校を卒業した、新進気鋭の保健婦さんです。

今後、乳幼児及妊産婦の健康管理、老人病や成人病など疾病の予防管理をはじめ、母子衛生、保健予防など、村民の健康管理全般に

名)し三万一千四百円、大明神(七十二名)し八万七千二百円、柏本(五十七名)し三万八千七百五十円、宮代(三十五名)し二万八千九百円、大沢(三十九名)し一万二千八百五十円、下野(二十一名)し八千七百円、久須見(十名)し六千四百円

▽物品寄贈の部

移動式黒板一面 神土村雲板金 大時計一個 青年バレーチーム

” 後藤東一 多治見昭和 中より

” 小幡隆徳 新(岐阜大卒)

” 安藤久子新(岐阜大卒)

(東白川中学校)

校長丹羽英一 多治見小泉 中より



# 夢託した二百五十万円

## 基金協力者の紹介 (その五)

スタート以来、村内外の皆さんから協力願っている奨学基金は四月二十四日現在二百四十七万円に達しました。まだまだ目標額までには達しませんが、後継者に夢を託す善意の基金は、こつこつと寄せられています。今後、受け付けを行なっていくしますのでご協力をお願いします。

### 村内協力者から

#### (大明神)

千円—安江正晃 千円—高井久代、二千円—桂川耕作、千円—島倉安夫、千円—安江末一、千円—安江孝三郎、一万円—田口清、千円—安江綾一、千円—島倉吉郎、千円—山口優、千八百円—熊沢ユリ、一万円—安江淳六、千円—安江実郎、千円—松岡鉦平、千円—安江正晃、千円—牧野省吾、千円—高井喜四郎、五百円—渡辺正造、千円—安江孝、千円—田口政司、五千円—田口新太郎、三百円—安江朝夫、千円—田口辰彦、千円—熊沢美里、千円—安江末一

#### (黒 測)

千円—桂川英郎、千円—安江真一、千円—熊沢健、五千円—桂川完二、千円—今井清八、五千円—桂川富次郎、千円—安江富雄、千円—安江厚、千円—安江喜好、千

#### (栃 山)

千円—馬淵応一、三千円—安江化平、千円—加藤裕暉、千円—林勉、千円—笹俣俊介、千円—安江哲郎、千円—古田秋男、千円—桂川佑一、千円—松岡靖、千円—安江保、三千円—桂川亮三、二千円—安江喜久男、千円—桂川美知子、千円—桂川喜郎、五百円—安江好子、千円—安江正木、千円—加藤寿、千円—安江市助、千円—笹俣俊夫

#### (陰 地)

千円—松岡政夫、一万円—安江文一、千円—安江福男、千円—安江治一、千円—安江勇夫、千円—安江永吉、千円—今井政一、千円—松岡安一、千円—後藤光夫、千

千円—松川久夫、千円—安江奎一、千円—安江功、千円—安江馨、五百円—五斗巖、千円—安江広四、千円—田口圭二

千円—稲垣昇、千円—松岡弘、千円—桂川武、二千円—安江易助、千円—菊田太久一、五千円—桂川巴、千円—安江茂、千円—安江一、千円—鈴木泰宏、五千円—今井兼義、千円—大晴生、千円—安江正明、千円—大坪富美子、千円—安江せい子、千円—今井銀三、千円—安江明子、千円—今井俊二

#### (日 向)

千円—桂川和子、千円—安江美鈴、千円—安江明子、二千円—安江健作、千円—大坪広子、千円—桂川繁子、一万円—桂川政一、千円—大坪隆司、千円—桂川房、三千円—桂川治、千円—安江徳一、千円—桂川伊三、千円—安江亮次、千円—安江均、千円—安江恒男、二千円—桂川国男、千円—笹俣昭千円—安江みつ江

#### (曲 坂)

五千円—今井定夫、千円—菊田節也、千円—村雲為市、千円—今井喜美代

#### (下 親 田)

五百円—島倉定、千円—安江麻一、五百円—安江恒男、三百円—林貫、千円—島倉淑子、千円—島倉正量、千円—田口英子、五百円—村雲鯛三、千円—安江悦子、千円

千円—伊佐治雄、千円—安江千之、千円—田口耐

千円—山口堅吾、五百円—山口てい子、一万円—田口しずえ、千円—山口逸二、千円—村雲守雄、二千円—安江三子男、千円—安江釣次、千円—交告甲子郎、千円—古田虎雄、千円—早瀬準学、千円—安江将一、千円—大坪一夫、千円—島倉芳馬、千円—古田澄雄、五千円—木村成人、二万円—安江久一、二千円—伊藤逸、千円—安江美也子、二千円—早瀬つた江、千円—伊藤千代子、三千円—安江竹雄、千円—早瀬新次

#### (中 谷)

千円—松島勇次、五千円—田口良三

#### (加 倉 尾)

千円—安江茂、二千円—田口善市、千円—安江吉春、千円—安江峯雄、千円—安江正雪、千円—藤井利市、千円—安江万代子、千円—田口直美、千円—田口穰

#### (西 洞)

千円—河田幸雄、千円—樋口敬一郎、二千円—今井貞雄、千円—小池武雄、千円—安部純、三千円—今井好美、千円—小池勇、二千円—村雲利彦、千円—安江哲次、千円—安江清志、千円—今井恵、千円—今井軍二、千円—田口久一、三万

千円—今井人美

千円—川尻江、千円—川尻貢  
(大 田)  
三千円—今井信二、千円—村雲千文、千円—村雲寛、千円—伊藤治雄、三千円—今井美千雄  
(平)  
三千円—申島克己、千円—田口勝、千円—安江政一、千円—新田元美、千円—今井悦次、二千円—成瀬弘、千円—島倉茂、千円—安江一三、千円—桂川祇紀、千円—山中真善美、千円—今井啓一、千円—村雲一仁、千円—村雲きせ子、千円—田口澄子、千円—田口す吾、千円—古田京三、五百円—丹羽晋敬次、五百円—安江かず、千円—小池肇、千円—土井勝美、千円—安江和生、五百円—藤井師子、三千円—古田芳一、千円—今井覚、千円—安江繁一、千円—藤井辰司、千五百円—安江敏夫、三千円—今井富夫、千円—服田孝彦、千円—安江恵三、百円—井端志よう、三千円—安江敬一、一万円—栗本勇三、千円—田口武夫、三千円—古田昌勝、二千円—服田守彦、千円—栗本貞子、千円—柳間一吉、三千円—寺坂五郎、千円—今井三枝子、千円—林知利、五千円—安江公平、三千円—中島清巳、千円—安

江訓、千円—中丸今二、千円—桂川典子、三千円—匿名、三千円—森藤市郎、千円—古田みつ、三千円—今井力、千円—村瀬武和、三千円—今井貞男、二千円—梅田幸彦、千円—山路真明、千円—田口光夫、千円—安江久夫、千円—田口義男、千円—田口和子、三千円—大坪金吾、千円—中島まゆみ、三千円—古田美代子、千円—安江柳一、千円—田口虎彦、千円—中島潮己、千円—村雲忠雄、千円—島倉芳夫、千円—安江勲、千円—中村十美、千円—今井和道、二千円—成瀬美里、五千円—今井專治、千円—安江作郎、千円—今井惣十、千円—中村久子、千円—安江耕治

千円—今井林平、千円—曾我修身千円—安江正光、千円—今井孟治千円—大岩俊逸、三千円—青山正成千五百円—今井貞夫、五百円—大野喜一、千円—藤原秋太、千円—安江明人、千円—安江丑夫、千円—安江末子、千円—安江吉一、三千円—西野正誠、二万円—神戸正樹

(宮代)

千円—安江晃、千円—古田晋作五百円—安江奎一、千円—今井隆次、千円—山口令次郎、千円—今井俊男、五百円—今井美芳

(下野)

三百円—熊崎喜久夫、千円—今井嘉造、千円—今井実郎、千円—今井美好、千円—今井喜造、千円—今井馬吉、千円—今井一郎、千円—安江力男、千円—今井幸四郎、千円—今井武一、五百円—安江和郎千円—今井德美、千円—今井梅男千円—今井利一、千円—今井福男千円—今井貞一、千円—古田鉦次千円—熊崎喜十、千円—熊崎進、千円—田口光夫

(大沢)

千円—藤井勝美、千円—今井一郎、五千円—今井恒満

△越原小学校▽

六千円—服部薫、三千円—土谷好丸、千円—宮崎輝夫、千円—安江成子、千円—村松孝吉、千円—田口和生、千円—高木一生

村外卒業生から

八千円—伊藤悦子、二千円—石川ますみ、千円—今井人美、千円—今井君子、千円—今井春子、五千円—梅田まさ江、千円—桂川寛、千円—桂川清治、千円—桂川正治千円—河合桂子、千円—桂川文字

千円—熊沢靖乃、千円—熊沢章代千円—小林栄美子、千円—鈴木はづみ、一万円—田口茂、千円—田口竜司、三千円—二宮成子、千円—福田富美子、千円—古田嘉十、千円—牧野芳子、二千円—村雲潔、千円—安江さち子、五千円—山口央郎、千円—安江敬、千円—安江多々博、千円—安江正、千円—吉野登世

△村人会▽

五千円—河村有三、二千円—田口敬三、千円—千原すず代、三千円—樋口武彦、千円—安江政子、二千円—安江千秋、千円—安江昭夫

村外協力者から

三千円—今井卯三郎、二千円—今井利也、千円—今井未夫、五千円—鶴飼充、五千円—小田精三、二千円—加藤厚子、千円—柘植みす江、二千円—亀洞千種、三千円—河井きみよ、一万円—桂川麻雄、一万円—梶田克郎、五千円—桂川熊吉、千円—熊崎祐一、千円—小池君子、一万円—小林若枝、二千円—坂本政子、二千円—座馬サヨ千円—坂本淳正、三千円—須藤みや江、二千円—田口守夫、千円—日直とし、千円—古田一五郎、二千円—古田為吉、千円—古田多千円—前江美英子、千円—前江さく

米の生産調整

目標面積ほぼ達成

自主的な計画に基づき



米の過剰問題に対処するためにとしから実施されることになった生産調整事業は、農家にとってははとうとうやって来たか...という気持ちと、これからの農業はどうすれば良いのか...という不安を持って迎えられました。

この問題は、単に農業だけの問題ではなく、他の産業との関連において非常に重要な要素をふくんでいますが、農業が基幹産業である私たちの村の場合、農業自体の方向転換だけにとどまらず、村の体質を変化させる要素をふくんでいなければならない、この問題の処理については慎重に協議がなされました

私たちの村の基本的な考えかたは、農家所得の確保と経営の体質改善のために、農家の自主的な計画を尊重して、希望面積を調査することとしました。三月末日頃

村雲亭、千円—安江昭子、五万円—安江光夫、一万円—安江重一、一万円、安江隆、千円—安江英雄、千円—安江茂郎、一万円—安江政一、千円—安江太三

米の過剰問題に対処するためにとしから実施されることになった生産調整事業は、農家にとってははとうとうやって来たか...という気持ちと、これからの農業はどうすれば良いのか...という不安を持って迎えられました。

休耕	六六一アール
茶苗	三五アール
檜苗	一五八アール
植林	一七二アール
桑	八一アール
養魚池	一八四アール
飼料作物	二九アール
その他	一六二アール
計	一四八二アール

希望面積の合計は、県から割り当てられた本村の目標面積一五〇〇アールに対し九八・八三パーセントとなります。

なお、転作、休耕の希望は今後も受け付けますから、希望者は農業振興係まで申し込んでください。



井口先生→渡辺先生

# 内科医師が交替

~~~~~待望の外科医5月着任~~~~~

渡部正二郎先生をお迎えすることになりました。

井口先生の後任については岐阜大学医学部のご厚意により、岐阜大学医学部第二内科出身で臨床医として長年の経験を持たれ郡上郡美並村診療所に勤務されていた。

渡部先生は、四月一日から、東白川病院長兼内科担当医師として、本村の医療と保健衛生の充実推進に、ご活躍いただいております。さらに、外科の先生が欠員中のため、ご迷惑とご不便をかけています。

東白川病院院長兼内科医師として勤務していただいていた井口恒男先生は、こんど、県当局の要請により、岐阜県郡上保健所長兼保健予防課長として、栄転されました。

井口先生は、三カ年にわたる病き厚くお礼申し上げます。こんどの転任で、始めて保健所施政にたずさわるわけですが、皆さんのご指導のもとに得ることの

村内のみなさんには、村の病院運営にいっそうのご協力とご利用をお願いします。

(編集部注)

なお、井口先生は、本紙の「みんなの健康」を十四回にわたり執筆され、今後二回分本紙に連載を託されました。

多忙な中で、こうしたみんなの健康を考え、村の実情に合わせた記事は好評で、家庭の医学読本としても大きな役割りを果たしてくれました。

村民そろってお礼をしたいと思

ありますが、専心努力する所存です。今後とも倍旧のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願

## 貴重な三年間

郡上保健所 井口 恒男

最後に東白川村の皆さんのご多幸をお祈り申し上げます。

東白川村公報を通じて、ごあいさつを申し上げます。

ようやく春らしい暖かい日の続く今日この頃ですが、東白川村の皆さんにはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。さて、私事、このたび東白川病院を退任し、岐阜県郡上保健所に勤務することになりました。東白川病院在任中は、公私にわたり格別のご指導ご厚情を賜わり、おかげをもちまして、大過なく勤めさせていただきました。

# ありがたうおばあさん

### 神土小へ掃除道具の山

新学期を迎えた神土小学校へ学校の美化に役立ててくださいと自分で作った掃除道具たくさんを寄贈された親切なおばあさんがあります。

このおばあさんは、神土親田の安江みゆさん(七十四歳)で、一昨年もこのような善意の寄贈をされ、この広報でも紹介しました。

ことしも、児童が使いやすいよう作った竹ぼうき百二十本、雑布百三十枚、バケツ二十五個とほぼ学校で使う一年分の道具を始業前に学校へ届けられたものです。

柳神土小学校長からも、このご好意をありがたうお受けするとともに、児童にもさっそくこのことを報告し、より学校をきれいにするために活用させますと、村の親切運動実行者として教育委員会へ報告がありました。

家庭内で使う雑布さえ、なかなか作れない今日、これだけたくさん道具を、児童が喜んで使う姿を思い浮かべながら、余暇を利用して二年がかりで使われた安江さんに、見習うなにかがあるようです。



(写真は善意の上、元氣な安江みゆさん)



# 青年大会 残念だった関心の薄さ

## 熱演の青年たちには気の毒

東白川青年団の恒例の行事青年演劇発表会が三月二十一日神戸小学校講堂において聞かれまし

た。

青年団、青年学級が冬期間の学習として取り入れ、研究、練習を続けていた成果を披露しようと、この大会を持ったものです。

午前十時に始まり、神戸分団Aブロックの「峠」を最初に、五加

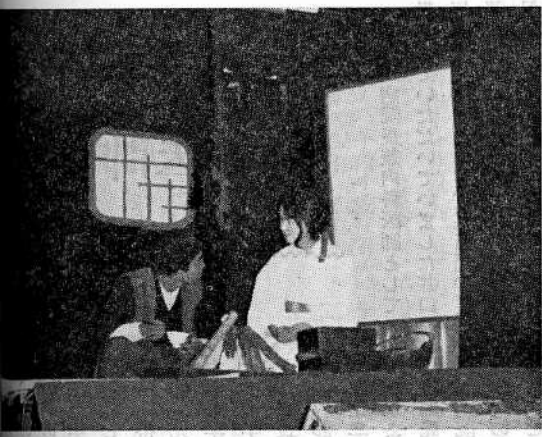
分団の「夕鶴」、神戸分団Bブロックの「最上川のはとり」、越原分団の「三年寝太郎」を上演、日ごろの練習の成果をじゅうぶんに見せてくれました。

ただ残念だったのは、観客のほとんどが子どもで、青年たちが見てもらい比評を聞くべき一般の観客が少なかつたということです。

日ごろ、青年の生活、行動などに対し比判的な声もある中で、こういった何かをつくりあげること

でチームワークをとり話し合いながら団結のための努力を続け、村のひとたち、自分たちの親たちに理解を求めている姿勢に対し、何か村の人たちは冷たいような気がします。

たった一日、なぜ村の指導層の人たち、そして青年の親たちは、その青年たちのために



民衆の娯楽的な芝居として、常に親しまれてきた演劇も、テレビの普及によって次第に影をひそめてきました。

わずかに青年演劇として残り、

現在村の中で独自の発表会を持ち中心的な活動として続けているのは県下で東白川だけのようです。

変わり行く青年活動の中で、そういう発表会

が続けられていくことは、団員皆さんの努力のたまものだと思います。

紙面をかりて、先日行なわれた発表会の感想を書いて見たいと思います。

## 楽しみな演劇活動

社会教育委員 安江啓次

一部の役については、むしろすぐれた面が見えました。

また、「峠」の佐吉、「最上川……」のいよ、重助、「三年寝太郎」のばあさま、長者など老役が活躍したことは、今回の特長だといえます。

が、何といってもすばらしかった

今日、すべての面で理解し、理解しあう姿勢が失なわれてしまったのは、ますますさういいた溝が深まっていくようです。

それでも青年たちは、自分たちが日夜努力し、そして総まとめであるこの発表会を完成させた喜びに満ちあふれ、仲間づくりと、やればできるの自信を 成果とし

たのは「夕鶴」のよひょう……そのほかには「峠」の三造、「夕鶴」のそうど、「最上川……」の信吾、「三年寝太郎」の勘太が無難にこなしていました。

今回、特に注目すべき点は、はじめてキャストになられたかたが二十六人中十九人もあり、これからの演劇に希望が持てると思えます。

ただ、残念なのは上からの照明がないために、舞台が暗かったことと

脚本の選定において青年演劇を選ばれたAブロックにおいては、盛り上がりなどに考慮すべき点があったと思います。

いずれにしても、年々さびれ行く演劇界の中で、昨年より進歩を見せた今大会を起点に、今後も続けられることを心から希望します

### けいじばん

三月の人の動きあれこれ

— 出生 —

(上親田) 安江龍夫 一隆 長男  
登貴子

(黒濁) 坂垣和也 恵美 二女  
栄子

(西洞) 小池勇 はるみ 長女  
恵美子

(曲坂) 大坪晴生 穂奈美 長女  
富美子

— 死亡 —

田口 たき (加倉尾)  
伊藤 泰三 (日向)  
佐藤 あい (大明神)